

### 予言

PC①

#### 暗示

あなたはアマデウスであり、探偵でもある。あなたは、助手であるアンリと共に、数々の事件を解決してきた。だが、今回の事件に関わることに、アンリは気が乗らないらしく、「行かないほうがよい」とあなたに忠告をした。

あなたの【任務】は今回の事件を解決する（絶界を消滅させる）ことだ。

### 予言

真実

「古墳館」だけが絶界ではない。今現在、あなたが認識している世界の全てが絶界「タイタス・クロウの事件簿」である。あなたはこの絶界においてのみ存在し、事件を解決する役割を与えられた、「タイタス・クロウ」である。

この絶界が消滅した場合、あなたは死亡する。

トリガー  
あなたが、「アンリ・ド・マリニー」の真実を知っており、彼女に対して【想い】を1点以上獲得していること。

### 予言

PC②

#### 暗示

あなたは、アーカムで「ネクロノミコン」が盗み出されたとき、偶然その場に居合わせたアマデウスだ。あなたは《妖蛆の王》を止めようとしたが、失敗してしまった。失敗を取り戻すため、あなたは「古墳館」に向かうアマデウスに同行することにした。

あなたの【任務】は、《妖蛆の王》を止めることだ。

### 予言

真実

《妖蛆の王》をあなたが取り逃した理由は、彼があなたの友人・ハーバードであったからだ。彼を取り逃して以来、あなたはどうにも調子が悪く、喉が渴き、冷静な思考ができない。

この真実が公開された場合、予言「ハーバード・ウェスト」を公開する。

トリガー  
「妖蛆の秘密」の真実が公開されたとき。

### 予言

PC③

#### 暗示

あなたは、絶界で機械仕掛けの神に立ち向かう自分の姿を夢に見た。夢の中でのあなたと仲間のアマデウスは、強大な力を持つ機械仕掛けの神に、為す術もなく蹂躪されていた。時が来る前に、神に打ち勝つ術を手に入れなくてはならない。

あなたの【任務】は機械仕掛けの神の仕組みを解き明かすことだ。

### 予言

真実

強大な力を持つ存在に対抗する術を、かつてあなたは「ネクロノミコン」の一節で読んだ記憶がある。必要なものは、「ネクロノミコン」の術理と、神を喚びし者の名数である。

この真実が決戦フェイズまでに公開されていない場合、あなたたちは決戦フェイズの戦闘に自動的に敗北する。

トリガー  
「ネクロノミコン」の真実が公開されたとき。

### 予言

PC④

#### 暗示

あなたには、ごく一般人の友人がいる。その友人、エリザベス・ウェストは病気がちで、外出することができないため、あなたはよく彼女を訪ね、アマデウスとしての冒険譚で彼女を楽しませていた。しかし、近頃何故か彼女に会うことが出来ない。彼女のことは心配だが、まずは仕事をこなさなければならぬだろう。

あなたの【任務】は、絶界から帰り、友人と会うことだ。

### 予言

真実

あなたが、エリザベスに最後に渡した本の名前は、「タイタス・クロウの事件簿」であった。この絶界で起きている事件は、その本のエピソードと酷似している。そして、PC①の助手、アンリと出会ったとき、あなたの疑念は確信に変わる。何故なら、彼女はエリザベスと瓜二つの容貌をしているからだ。

この真実が公開されたとき、予言「アンリ・ド・マリニー」を公開する。

トリガー  
アンリ・ド・マリニーに対して、【想い】を獲得しているPCが2人以上存在すること。

### 予言

古墳館

#### 暗示

陰鬱とした雰囲気を醸し出す、古ぼけた洋館。窓は日差しが差し込まないようにカーテンが閉じられている。生氣のない執事やメイドが、屋敷の中を徘徊しており、カーテンを開けない限りは、アマデウスたちにワインを振る舞い、客人としてもてなしてくれる。

### 予言

真実

古墳館を探したが、「ネクロノミコン」は見つからない。代わりに、「妖蛆の秘密」と呼ばれる魔導書を見つける。

予言「妖蛆の秘密」を公開する。

トリガー  
いつでも

### 予言

妖蛆の秘密

#### 暗示

《妖蛆の王》が得た力の源である魔導書。この魔導書をひも解くことにより、彼の者が望むの秘法を暴くことができるだろう。

### 予言

真実

魂のある人間の体から、ある人間の体へと移す術理が記されている。対象となる人間の名数が必要であるため、生年月日や本名を知っている……つまり、友人と呼べるくらい親しい関係の人間を対象にする必要がある。1サイクル目終了時まではこの真実が明らかになっていない場合、黒のインガが1点上昇する。さらに、ワインを飲んでいたPCは、墮落の変調を受ける。

トリガー  
黒の領域を除く、何れかの領域の覚醒段階が2段階目に突入していること。

**予言**  
ハーバード・ウェスト

**暗示**

エリザベス・ウェストの兄であり、アマデウスである。《妖蛆の王》を名乗り、聖地アーカムから「ネクロノミコン」を盗み出した。

**予言**  
真実

ハーバード・ウェストの親神は、PC③の夢に現れた機械仕掛けの神であり、彼は本当のアマデウスではない。ハーバードは、余命幾許もない妹・エリザベスを救うために、「妖蛆の秘密」の術理を実行しようとしていた。それが妨害されることを防ぐために、「ネクロノミコン」を盗み出したのだ。

**トリガー**  
ハーバード・ウェスト、もしくはエリザベス・ウェストに対して【想い】を1点以上獲得しているPCが存在すること。

**予言**  
ネクロノミコン

**暗示**

クトゥルフ神群において、最も著名な書物のひとつ。《妖蛆の王》を名乗る人物によって、聖地アーカムから盗み出された。この世界の真実やあらゆる邪悪なものについて記されている。その叡智を得ることは、邪悪なものに対する有効な防御手段となり得る。

**予言**  
真実

名を持つあらゆる存在には、名数が存在する。その名数を押さえることは、例え強大な力を持つ者であっても、優位に立つことができる（決戦フェイズにおいて、必要な人物の名前を正しく言い当てることができれば、怪物を弱体化させることができる）。

また、この真実が公開されている場合、PCはギフト：ネクロノミコンを使用することができる。

**トリガー**  
いつでも

**予言**  
アンリ・ド・マリニー

**暗示**

PC①の助手。エリザベス・ウェストと瓜二つの外見をしている。

**予言**  
真実

アンリ・ド・マリニーは偽りの存在である。彼女はこの絶界において、「タイタス・クロウ」と共に冒険をしたいと願ったエリザベス・ウェストの願望によって創造された存在である。そのため、この絶界が消滅した場合、彼女は死亡する。

彼女は、ド・マリニーの時計を核として、機械仕掛けの神を創造し、エリザベスの願いを叶え続けるために、この絶界を維持している。

また、彼女は、PC①を敬愛しており、いつまでも共に歩みたいと願っている。

**トリガー**  
アンリ・ド・マリニーに対して、【想い】を1点以上獲得していること。

**緑** 本体 Lv. 3  
妖蛆の群れ

群れ、虫

「妖蛆の秘密」に記されし、妖蛆を操る秘術によってあらわれたもの。見る者に本能的な嫌悪感を呼び起こさせる。

攻撃値 2 生命力 30 防御値 1

**効果**

【絶えず湧き出るもの】本体を攻撃した場合、受けるダメージに-1D6する。

**術式** 脅威 Lv. 3  
ド・マリニーの掛け時計

門、時空、宇宙、機械

判定 日常

4本の針を持つ、継ぎ目のない棺桶のような印象を受ける時計。時空を超える乗り物であるとも伝えられる。

威力 --- 攻撃値 +1 耐久度 14 防御値 -1

**効果**

【因果流入】任意の領域に配置されているインガ1個を任意の領域に移動する。  
【時間凍結】PC全員の生命力を1D6点減少させる。また、欄外にいないPC全員は、アイテムを1つ選んで破壊する。

**白** 本体 Lv. 3  
機械仕掛けの神

実体、神、混濁

ただこの場に在り続け、永遠の時を観測し続ける存在。神としての矜持など無く、人の望むがままに時を刻む。

攻撃値 3 生命力 70 防御値 2

**効果**

【神への叛逆】本体に攻撃を行なう場合、任意のパスひとつを選び、チェックを入れる。チェックを入れることが出来ない場合、本体を攻撃することはできない。  
【銀の歯車】本体に攻撃を行なう場合、防御値が+1される。